

地域の廃棄物削減とリサイクル

廃棄物の削減とリサイクルに取り組んでいます

カスミでは廃棄物の大幅な削減という目標を掲げています。全店にリサイクルステーションを設置してお客さまとともに資源物の回収、リサイクルを進めるとともに、食品リサイクル・ループに取り組んでいます。

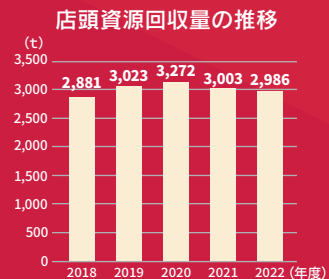
2022年度 店頭資源回収量

2,986t

【店舗でのリサイクル】

リサイクルステーション

地域のお客さまの協力を得て、牛乳パックやアルミ缶・スチール缶、食品トレイ、透明容器、ペットボトル、ペットボトルキャップ、古紙など資源物の回収を行っています。



レジ袋削減の取り組みとレジ袋収益金の寄付

カスミでは、1974年に買い物袋持参運動を始め、レジ袋有料化を先行して実施しました。2020年7月のプラスチック製買い物袋有料化の法制化にともない、カスミ全店でレジ袋無料配布を終了。お買い物袋持参運動を推進し、2022年度までに121,831,366枚のレジ袋をご辞退いただきました。2022年度のレジ袋辞退率は84.5%です。

食品リサイクル・ループ認定

2021年10月、農林水産大臣ならびに環境大臣による食品リサイクル法に基づく「再生利用事業計画」の認定を取得しました。店舗で分別した食品残さなどを保冷車で運搬し、再生利用事業者で飼料化。養鶏場ではその配合飼料を給餌した鶏から採卵し、その卵をゆで卵に加工して、カスミ店舗でゆで卵入り弁当などを製造販売しています。2023年5月より群馬県のカスミ4店舗に拡大しました。



環境会計

環境保全コスト

(単位：千円)

環境保全コストの分類		2021年度	2022年度	主な取組内容
事業エリア内コスト	公害防止コスト（大気汚染防止、水質汚濁防止、悪臭防止、騒音・振動防止）	60,674	46,353	ボイラー保守、浄化槽・クリストラップのメンテナンス、排気ダクトのメンテナンス、防音壁の設置等
	資源循環コスト	576,808	596,238	生ごみリサイクル、廃棄物の処理費用
	地球環境保全コスト	20,118	20,008	カスミ共感創造の森、フロン適正処理
上・下流コスト	容器包装等の低環境負荷化	51,940	64,245	容器包装リサイクル法委託料
		43,578	43,766	店頭回収に係る費用 他
管理活動コスト	環境情報の開示・環境広告	82,392	87,371	環境報告書、環境社会貢献担当部署の管理費等
	環境負荷監視	11,640	12,056	廃棄物一元管理会社ビートルマネジメント管理費、JWネット手数料
		689	394	排水水質検査
	自然保護、緑化、景観保持等	5,178	5,619	植栽管理
合 計		853,017	876,050	

環境保全効果

環境効果の内容	2021年度	2022年度	効 果（前年比）
事業エリア内コストに対応する効果（店舗）	エネルギー投入量	電気（千kWh）280,540 ガス（千m ³ ）765	273,791 892
	水道	1,124	1,073
	廃棄物の排出等	総発生量（t）35,693 リサイクル量(t) 23,296 リサイクル率(%) 65.3	33,650 21,822 64.8
			原単位あたりで97.6%、総量で97.6% 原単位あたりで116.6%、総量で116.5% 原単位あたりで95.5%、総量で95.4% 前年比94.3% 前年比93.7% 前年対比0.5ポイント減
	上・下流コストに対応する効果	店頭資源回収量	牛乳パック、アルミ缶、食品トレイ、ペットボトル（t）2,892 2,583
		容器包装利用量（t）2,382 レジ袋の削減枚数（万枚）12,120	2,298 12,183
			前年比89.3% 前年比96.5% 前年比100.5%

経済的効果

(単位：千円)

内 容	2021年度	2022年度	効 果
リサイクルにより得られた収入（資源売却、発泡スチロール自社リサイクル等）	341,913	439,716	店頭回収資源、段ボール、発泡スチロールの売却金等
レジ袋削減運動によるコスト削減	334,896	285,219	年間レジ袋推定仕入費用×（レジ袋削減枚数÷年間仕入枚数）
スチロール自社リサイクルによるコスト削減	3,8943	19,475	産業廃棄物処理費（200円/kg）と自社処理経費の差額
合 計	715,752	744,410	

3RによるCO₂削減

カスミは店舗・施設やお客さまとともに行うリサイクル活動、商品・物流を通してCO₂排出量の削減に取り組んでいます。2022年度は店頭リサイクルやレジ袋削減など3Rにより約6.5万tのCO₂を削減、CO₂総排出量は約6.5万tとなりました。

※3Rとは、Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3つのRの総称。

廃棄物とリサイクル率

2022年度の廃棄物総排出量は33,650tで、このうち21,822t（64.8%）をリサイクルしました。食品のリサイクル率は58.9%です。

